

津房地区公民館便り

編集・発行
津房地区公民館

電話番号
48-2001



本来なら、小学生が入場してから、

津房地区のみなさんの交流の場

第20回津房ふれあい大運動会 優勝は西部地区！



台風二十三号の影響？か、風が多少強かったのですが、好天の下津房ふれあい大運動会が行われました。左の写真は開会式での清々しい小学生の入場の様子です。

「かつて、『中高一貫教育』が安心院・院内地区に導入されたとき、『地域の子どもは地域で育てる』と地域の大人が見守る中を子どもたちが活動するというある意味「地域の教育の在り方」の象徴のように感じられませんか？」



「地区体」参加の大人が並ぶのですが、指導員の私が開会式よりも先に地域のみなさんの入場を呼びかけてしまったので、このような入場の様子になりました。でも、こうして写真で見ると、



	南部	中部	西部	北部
グランドゲート	6	10	8	4
五輪の和	4	10	8	6
防災訓練	6	4	10	8
玉入れ	8	4	10	6
合計	22点	28点	36点	22点

「地区体」の結果——
いう掛け声のもとにPTAや学校・地域が一体となって取り組みました。前号で少し触れましたが、小規模校の存続が危ぶまれる中、「地域の宝」をずっと見守り続けていきたいと思います。

「ここはゴミ捨て場じゃないのに！」

8月の670号で旧津房農協奥の建物が津房まちづくり協議会の資源ごみ（左の部屋が



ビン・缶で、右の部屋は段ボールなどの紙類）の回収場所になっています。特に左の部屋に回収対象外の物が持ち込まれていることをお伝えしました。しかし、まだ知ってか？知らずか？「持ち込み」が絶えません。

資源ごみ＝ペットボトル、アルミ缶、スチール缶、

一升瓶、ビール瓶 **だけです！**

焼酎「三楽」の200(220)mlの容器はPETですが回収してくれません。オロナミンC、リポビタンDなどの栄養ドリンクのビンも回収してくれません。よろしくお願いします。

十一月九日(日)

粗大ごみ回収の日

年に一回の津房地区での粗大ごみ回収が公民館の駐車場で行われます。

資源ごみの回収場所に食器乾燥機が持ち込まれていましたが、時期を逃さず、今回のような機会に持ち込んでいただければ良いかなと思います。

当初十一月九日(日)に予定していた

第八回「茶飲みの市」は

十一月十五日(土)

一三時〜開きます。

第八回の目玉は、「植木鉢」です。

毎度の通り、非常に「安価」でお譲りいたします。雨でない限り、公民館の玄関先で販売いたしますので、お気軽に立ち寄ってください。

もちろん屋内に入られて、お茶やコーヒーを飲みながら談笑されるのもよし。

今回も、公民館前の永田さんが参加してくださるので、刃物を研いでほしい方はお持ちください。

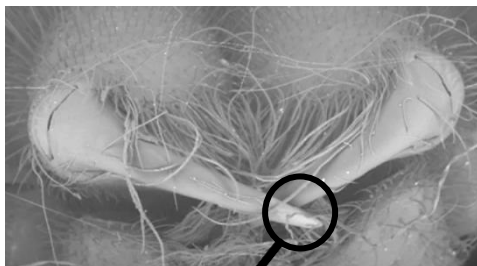


公民館の玄関でコオロギを捕食しているアシダカグモ→

9月26日の朝、公民館の玄関わきでアシダカグモがコオロギを捕まえて、「食べて？」いました。しばらくすると、クモはどこかに行ったらしくコオロギの死体だけが形そのままに残されていました。「食ったの？」と思って、コオロギの死体を左右に引っ張って見るとカラカラになっていて「ミイラ」の状態になっていました。面白いなと思って調べました。

(調べたこと)

クモの口には左右に「鉗角(きょうかく)」というはさみのような歯があり、その先端には穴があり、毒液を餌の体内に注入して動けなくするそうです。そのあと、今度は消化液を注入して、餌の筋肉や内臓をドロドロに溶かしてチューチュー吸っ



て体内に取り込むそうです。

それで、コオロギ君は殻(外骨格)だけ残して中身がなくなっていたのです。

ちなみにアシダカグモはクモの巣を張らずに、「待ち伏せ」や「素早い動き」で狩りをして、家の中のハエやゴキブリなどを食べるそうです。

ヒトには無害で、ゴキブリを食べてくれるいいやつです。

見た目で「気持ち悪い!」など言わずに殺さないでやって下さい。



次回に持ち越します。

板場の戦没者慰霊碑(墓地)の
清掃・草刈り作業を津房遺族会と
まち協で行いました。
前もって草刈り作業を行ってくださった方もいらっしゃいました。
今回は高圧洗浄機を使って墓石のコケを取り除こうと思っていたのですが、発電機的能力が足りずに水流が弱く不発に終わりました。

この「公民館便り」で『花壇の土が、水を吸い込まないで、流れてしまいます』と嘆いたところ、丸田の小野正雄様が、『腐葉土を入れるといいよ』と届けてくださいました。

グリーンカーテンのアサガオを片づけた後に、土に混ぜ



こんだところ、驚くほどよく水を吸い込みました。これから植えるパンジーの良い肥料にもなるでしょう。楽しみです。